Vol. 29

2012年7月1日

編集·発行/松山赤十字病院

7790-8524 松山市文京町1番地 TEL089-924-1111 FAX089-922-6892

・《基本理念》人道・博愛・奉仕の赤十字精神に基づき、医療を通じて、地域社会に貢献します。

手術用顕微鏡を用いた、侵襲の少ない脊椎手術を



整形外科 診療部長

野田

近年の高齢化に伴い、 運動器(骨、関節、筋肉、 腱、神経など身体を動か す器官・組織の総称)に 何らかの問題を抱えた人 が増えています。運動器 の障害は症状が軽いうち はあまり深刻に受け止め られませんが、悪化する と QOL (生活の質) の

低下を招きます。特に、自分の足で歩けなくなると、 行動範囲が狭くなり、社会参加の機会が減り、閉じ こもりになると精神面にも悪影響が生じ、寝たきり などの深刻な健康問題につながることもあります。

慎 之

このような運動器の障害のため、要介護になったり要介護になる危険の高い状態を、日本整形外科学会では「ロコモティブシンドローム(ロコモ:運動器症候群)」という新しい概念として提唱しています。そして、身の回りのことは自分でこなし、自立して健康に生活が出来る「健康寿命」を延ばすためのトレーニング(ロコトレ)を推奨しています。

しかしながら、骨や関節は加齢と共に変化し変形は進行します。脊椎(背骨)に骨棘の形成や椎間板の膨隆が生じると、頚椎であれば脊髄が圧迫され、手足の麻痺を来たす頚椎症性脊髄症や、腰椎では下肢のしびれや痛みのため長く歩けなくなる腰部脊柱管狭窄症が、近年、高齢者人口の増加と共に増えています。

治療は保存的治療(薬物療法、牽引や温熱療法などの理学療法、局所麻酔薬を使用した神経ブロック療法などメスを使わない治療法の総称)が第一選択になりますが、症状が重い場合や保存療法で十分な効果が得られない場合には手術を行います。

当科では27年前より脊椎外来を開設し、脊椎・脊髄疾患の診断と手術治療を行ってきました。入院はほぼ全例が手術的治療を目的とした患者さんで、手術件数は年間約130~150例を数えています。当科の手術例でも頚椎症性脊髄症や腰部脊柱管狭窄症が多く、2011年は約半数67例(49%)が70歳以上の患者さんで、80歳以上の患者さんも増加しています。

手術により QOL の向上が得られるのであれば高齢者といえども、麻酔科や各診療科の協力により手術を行っています。また手術を行う際にはインスツルメント(金属)を用いた固定術は出来るだけ行わず、手術用顕微鏡を用いて低侵襲でより安全確実な一人一人の患者さんの状態に応じた手術を心がけています。

なお、当科には脊椎外来以外に、手の外科・股関節外科・膝関節外科・肩関節外科の専門外来があり、各疾患のスペシャリストが手術治療を行っています。手術には抵抗感のある方もおられるでしょうが、適切に行えば手術により QOL の向上が得られますので、症状の改善を希望される患者さんは御相談下さい。



当科での脊椎手術数(2011年)



手術用顕微鏡を用いた脊椎手術



関節鏡を用いた肩関節手術(肩関節外来担当 大前副部長)

「中村北なかよし会」「古川南なかよし会」からのご

4月12日(木)、「中村北なかよし会」と「古川南なかよし会」 の7名の方々が来院し、プルタブ等を集めて購入した車椅子 2台をプレゼントとして当院に寄贈してくれました。

「中村北なかよし会」「古川南なかよし会」とは、それぞれ の町内会の一部の方々で構成された会です。

「両なかよし会」の皆様は松山市のごみ対策の一環として、 プルタブやアルミ缶等、資源ゴミを回収し、それを換金する ことでこれまで花園幼稚園のサポートを行ってこられました。

そしてこの活動は町内会のご老人や子供達に奉仕活動を通 じてよい影響を与え、良い環境を創っているそうです。

今回の寄付は、花園幼稚園の活動(意志)を引き継ぐものと して、また今後の奉仕活動のシンボルとして両地区から寄贈 して頂けるものです。

当院玄関ロビーで行われた寄贈式では、「中村北なかよし 会」代表の白石和子氏と「古川南なかよし会」代表の林一孝氏



から渡部事務部長と小椋看護部長に車椅子が手渡され、渕上院長から両なかよし会へ感謝状を贈呈しました。 「中村北なかよし会」と「古川南なかよし会」の皆様、ありがとうございました。

松山赤十字病院・松山市・同市教育委員会と協定

『松山市・同市教育委員会と松山赤十字病院との 成育コミュニティ・ボランティアの活動に関する 協定書の調印式」が、去る5月8日(火)に松山市役 所において行われました。

行政・教育・医療の三者が連携して地域の子供 達を育てていくための新しい取り組みであり、当 院の成育医療センター所長である小谷副院長の提 案により、市と教育委員会賛同のもと、医療と教 育の連携を図る協定が締結されました。





協定書に調印する山内教育長・野志市長・渕上院長

H24.5.8 提案者である小谷副院長 から経緯と概要の説明



肝がん撲滅のための 市民公開講座」開催のお知らせ

- 平成24年7月29日(日) $13:00 \sim 16:00$
- 場 愛媛県医師会館ホール 参加費 無 料
- 定 員 先着300名(事前申込は不要)

肝胆膵内科の上甲部長を中心に、日本 肝臓学会主催により開催されます。当日 は、県内の肝臓専門医による講演、市民 の皆様から寄せられる質問や相談に対す るパネル討論や、先着10名の方への個別 相談を予定しております。肝臓病に対す る理解を深める機会として、お気軽にご 参加ください。



松山赤十字病院スラック・ジャックセミナー 開催のお知らせ



平成24年11月23日(金) 13:00~16:30 惿 松山赤十字病院(教育講堂他) 対象者 県内の高校生(24名) 応募方法 ※8月~9月 HP 等にて公開予定

若い医師の外科離れが問題となる 中、1人でも多くの学生が外科医を 目指してくれるよう、最新の治療体 験(手術体験機会の提供)を通じて、 「将来外科医になりたい」、「医療に携 わりたい」という興味を抱いてもら い、将来の日本の医療(愛媛県の地域 医療)に貢献できる人材の育成に努め ることを目的として開催いたします。



います

「心肺蘇生」と 日常のとっさの手当や予防に役立つ 「AED」を学べる

が十字拠忌法。この中には、はに上上
な「心肺蘇生」と「AED」を学べる動 動画を公開して 画(約15分)を、日本赤十字社ホーム ページで公開中。ぜひご覧ください。

◆ 当院ホームページからも視聴できます ◆ 「新着・お知らせ」の記事一覧(5月14日付記事)

または、Yahoo!等で 松山赤十字病院 心肺蘇生 検索

■当院携帯サイトをご覧頂けます

右のQRコード(二次元バーコード)を取り込む ことにより、当院携帯サイトにアクセスできます。

- ●アクセス
- 外来診療のご室内
- ●救急のご案内
- ●お見舞いのご案内
- 職員募集情報

